

自分たちの地域は 自分たちの手で！

近年、高齢化や価値観の多様化に伴い、地域が抱える課題も複雑になっていきます。自治会は、地域に暮らす人同士で協力して自ら課題に取り組むことで、お互いのより良い暮らしを作っていく組織です。あなたも地域の一員として、一緒に取り組んでみませんか。

自治会とは

自治会とは、皆さんが住んでいる地域のさまざまなこと（管理や困りごと）へ対応する、住民自らが運営する組織です。市内には101の自治会があり、自治会加入者の会費などで運営されています。

自治会の主な活動

自治会では、福祉の向上や防災の取り組み、地域の情報を住民の皆さんに伝え、親睦を図る

など、次のような活動を実施している所もあります。

地域福祉活動

地域サポート活動
一人暮らしの高齢者の見守りや、外出の際の送迎、ごみ出しなどの支援を地域で行っています。

地域福祉行事の開催

地域で元気に暮らしていくために、介護予防講座やサロンなどを開催しています。

子育て支援活動

子ども会育成会の支援や、通学合宿、社会科見学など、子どもたちのための活動を行っています。

問題解決

地域のルールづくり
ペットの飼い方や、路上駐車、庭木の管理など、地域の困りごとを話し合い、解決しています。

要望書の提出

道路や河川の問題や交通安全施設の設置など、地域で解決できない問題を取りまとめ、関係機関に要望しています。

親睦活動

スポーツ大会や文化事業の参加や実施

成人祝賀駅伝競走大会に自治会に参加したり、夏祭りを行いました。

自治会の垣根を越えて

光陽台4、5、6区の自治会合同行事として、地域の絆づくりを目的に開催されている「ぜんざいウォーク」。区内のチェックポイントを探して歩き、ウォーキングの後は、ぜんざいの振る舞いやじゃんけんゲームなどで盛り上がります。

昨年12月、人手不足から実施が危ぶまれましたが、運営方法を見直し、自治会ごとに役割分担することで開催することができました。参加する子どもたちの笑顔が、活動を続けていく活力となっています。



▲170人の参加者でにぎわいました

いざというときに 大きな力に

平成29年の九州北部豪雨の際、朝倉市のある地区では1人で避難が難しい人を日頃から把握し補助する人を決めていたため、いち早く声掛けや避難をすることができたという事例があります。

統文化の祭りを伝承しています。**交流会の開催**
もちつき大会など、地域住民同士が交流できる機会を作っています。

集会所（自治公民館）の管理

地域住民の活動の場として、集会所などを運営しています。

環境美化活動

分別収集
ごみのリサイクル促進のため、公民館や公園などで地域の人が世話人となり、地域分別ごみ収集会場を定期的に開設しています。

全市環境美化運動

地域美化のために、広場や道路などの清掃を行っています。

情報伝達

文書の回覧
地域の防犯情報や行事案内などを、主に組単位で回覧し情報を伝えていきます。また、地域の掲示板の管理もしています。

した。

また、避難所や仮設住宅での生活の中でも、気心の知れた人同士のつながりが、心理的負担の軽減となり、迅速な生活再建にもつながると言われています。

このように、日頃から培った地域住民同士の助け合いや支え合いの関係が、災害が起きたときに一人一人の命を救う重要な役割を果たします。これらの関係づくりには、自治会の存在が特に重要視されています。

日頃の生活も 自治会が支えています

その地域に暮らす人の身近な目線だからこそ、取り組んでいけることがあります。

例えば、地域に設置されている防犯灯がいつも明るく照らされていること。また、公園や道路が美しい景観を保っているのも、日々の清掃や、花壇を管理している自治会活動のたまものです。

地域の困りごとをいち早く捉え、個人の意見ではなく、地域の考えとして自治会が関係機関に要望することもあります。「自治会なんて自分には関係



▲岡の2区では、家に車がないなど外出が難しい人の買い物支援活動を始めました。参加者は、車で送迎してもらうことで、徒歩では運ぶのが大変な量でも安心して買うことができます。

自治会放送

地域の行事の開催など、地域のお知らせを行っています。

防犯・防災活動

防犯灯の維持管理

地域内の防犯灯の電気料金の支払いや電球の交換など、日々の維持管理を行っています。

一斉防災訓練

いざという時に、お互いが助け合って速やかに行動できるよう、訓練をしています。

自主防災組織の結成

地域独自の安全マップの作成や防犯パトロールを行うなど、地域でできる防犯・防災活動を行っています。



▲光陽台2区では、ごみ出しが難しい人のごみを収集会場まで運んでいます。

より良い暮らしを 作るために

自治会の取り組みは、とても大切なものですが、運営には課題もあります。役員を引き受ける人や活動する人の減少、高齢化による負担の増加は、多くの自治会の悩みとなっています。

そこに住む一人一人が自治会に関わり、自分たちの地域のことを前向きに提案し、助け合っていくことが必要です。
問い合わせ 郷づくり支援課 ☎62・5017